

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
彦根市	水道事業		

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立行 政法人への 移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
			●		●		

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(水道事業)広域化等													
実施済		(実施類型)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">経営統合</td> <td style="text-align: center;">施設の 共同設置・利用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施設管理の 共同化</td> <td style="text-align: center;">管理の一体化</td> </tr> </table>	経営統合	施設の 共同設置・利用	施設管理の 共同化	管理の一体化	(取組の概要)		(実施(予定)時期)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>	年	月	日
経営統合	施設の 共同設置・利用													
施設管理の 共同化	管理の一体化													
年	月	日												
実施予定														
検討中	●		(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の概要) 滋賀県が令和4年12月に策定した「滋賀県 水道広域化推進プラン」に基づき、県内水 道事業者間で広域化の協議、検討を継続 して行っている。	(取組の効果額内訳)	(検査状況・課題) 上記プラン方針である「ゆるやかな広域連携の推進」の実施に向 けて、取組項目の検討を行っている。								

取組事項	民間活用(包括的民間委託)									
実施済		(取組の概要)		((実施済のみ)性能発注内容)		(実施(予定)時期)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>	年	月	日
年	月	日								
実施予定										
検討中	●		(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の概要) 上下水道料金徴収(滞納整理含む。)、上下 水道メーター検針、水道メーター交換、水 道漏水や下水道閉塞など維持管理業務、 給水設備申請受付審査・検査、宅地開発 などの受付審査など。	(取組の効果額内訳)	(検査状況・課題) どの業務を委託するのかの検討を行っているところ。 委託する業務についての細かなマニュアル作成が必要。				

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
彦根市	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">●</div>
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立行 政法人への 移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本市は、滋賀県琵琶湖流域下水道東北部処理区に属しており、個別の処理場を有していないため、事業廃止や民営化等の抜本的な改革を検討する前段階にあると考えられる。

こうした状況の中、令和2年4月から地方公営企業法の一部適用を開始し、事業の財政状況を明確にすることで持続可能な下水道事業の経営を目指している。

また、令和2年度には令和3年度から令和7年度を計画期間とした第6期経営計画を、令和5年度には令和5年度から令和14年度を計画期間とした経営戦略を策定し、これら計画に基づき、施設の適正な維持管理、持続的な事業経営による安定したサービスの提供および経営状況と財政状況の明確化に取り組んでいく。

なお、令和6～7年度にかけて、あらたに経営戦略と一体化した第7期経営計画を策定する予定であり、当該計画の策定と合わせて使用料の改定についても具体的な検討を進める。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
彦根市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 ●
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立行 政法人への 移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本市は、滋賀県琵琶湖流域下水道東北部処理区に属しており、個別の処理場を有していないため、事業廃止や民営化等の抜本的な改革を検討する前段階にあると考えられる。

こうした状況の中、令和2年4月から地方公営企業法の一部適用を開始し、事業の財政状況を明確にすることで持続可能な下水道事業の経営を目指している。

また、令和2年度には令和3年度から令和7年度を計画期間とした第6期経営計画を、令和5年度には令和5年度から令和14年度を計画期間とした経営戦略を策定し、これら計画に基づき、施設の適正な維持管理、持続的な事業経営による安定したサービスの提供および経営状況と財政状況の明確化に取り組んでいく。

なお、令和6～7年度にかけて、あらたに経営戦略と一体化した第7期経営計画を策定する予定であり、当該計画の策定と合わせて使用料の改定についても具体的な検討を進める。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
彦根市	下水道事業	農業集落排水施設	#VALUE!

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
●							

抜本的な改革の取組状況

取組事項	事業廃止																
実施済		<p>(取組の概要)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 100px;">彦根市公共下水道事業計画に基づき、農業集落排水処理区域を順次、公共下水道整備区域へ編入予定のため。</div>	<p>(全部と一部の別)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>全部廃止</th> <th>一部廃止</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ①診療所化・介護施設化 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化 ③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ● ⑤広域化による廃止 ⑥その他 	全部廃止	一部廃止	●		<p>(実施(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>	令和			8			年	月	日
全部廃止	一部廃止																
●																	
令和																	
8																	
年	月	日															
実施予定	●	<p>(取組の効果額)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">123</td> <td style="text-align: right;">百万円(年)</td> </tr> </table>	123	百万円(年)	<p>(取組の効果額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①建設改良費</td> <td>年▲1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②人件費</td> <td>年±0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③維持管理費</td> <td>年▲40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④委託費</td> <td>年▲82</td> <td style="text-align: right;">計 年▲123</td> </tr> </table>	①建設改良費	年▲1		②人件費	年±0		③維持管理費	年▲40		④委託費	年▲82	計 年▲123
123	百万円(年)																
①建設改良費	年▲1																
②人件費	年±0																
③維持管理費	年▲40																
④委託費	年▲82	計 年▲123															
検討中		<p>(取組の概要)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>	<p>(検討状況・課題)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>														

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
彦根市	病院事業		

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続 ●
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当院では、令和3年度から令和5年度までを対象とした独自の彦根市立病院中期経営計画を策定し、その推進に努めてきた。これは、令和2年度に新改革プランが終了し、次に策定予定の経営強化プランまでの空白を埋めるもので、経営改革を継続して実施することで、アフターコロナの病院経営を見据えた改革を進めるものである。

令和5年度は中期経営計画の最終年度であったが、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したものの、依然として入院患者数、外来患者数ともに新型コロナ禍前の水準には戻らなかった。その結果、医業収支は令和4年度と比較して赤字が膨らむ見込みであり、経常収支も令和4年度は黒字であったものの、令和5年度は赤字となる見込みである。

厳しい経営状況ではあるが、令和6年度からは新たに策定した「彦根市立病院経営強化プラン」に則り、一層の経営強化を図りつつ、公立病院として持続可能な地域医療の提供体制を確保していく。

職員の経営に対する意識も、新改革プランや中期経営計画を推進する中で変化しており、現在の経営体制のままでも経営強化プランを推進することで、補助金に頼らず経常収支の黒字化は達成できるものと考えている。